

森林を活かす

ふつうに 木のある暮らし



上小木材協同組合

◇ 木材生産から加工、住宅建築までの流れ ～樹から木へつながる家づくり～



木材の生産(間伐)



大型トラックで製材所まで搬出



木材が製材所に集められる



表面を磨き、必要な面加工を行う



乾燥機で適正な含水率まで乾燥し、ねじれや割れを抑える



必要な幅、厚さの角材や板材に製材される



建築物によっては、板材を重ねて、大断面集成材等に加工



棟上げ(上棟、建前)



構造材や内装材などに地域材をふんだんに使用して建築



木材は地域循環型の資材

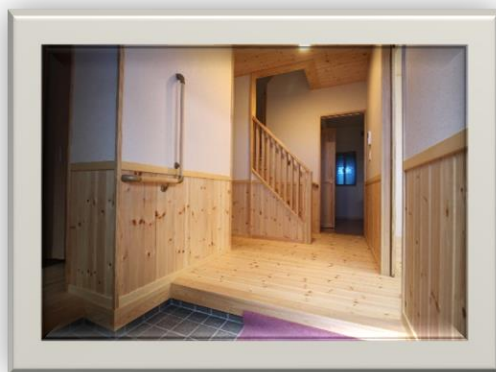
「原材料の生産、調達」「製材・加工」「配送」「建築・販売」といった、消費者へ届くまでの全ての工程が地域内で完結できるのが木材です。

地域材を利用することは、地域の森林の健全な育成につながるとともに、消費者の皆様へ「安心」をお届けします。

上小木材協同組合

上小地域では、上小木材協同組合員である約20社が木材の生産から、建築材、土木材、集成材、梱包材等の製材加工や住宅等の設計・施工を行っています。

高い加工技術により「狂いが無い」「強度が強い」など品質の高い資材を提供するとともに、皆様の「普通に木のある暮らし」をサポートいたします。



お施主さんの希望がかなった地域材にこだわった家



自然素材にこだわった憩いの空間

～ 地域材と一緒に暮らす ～

木材には、①断熱性が高く独特の温もりがある、②調湿作用がある、③衝撃緩衝作用がある、④ダニの繁殖を抑制する、⑤音をまろやかにする、などの特徴を持っており、健康的で癒しの空間を作り出せる自然素材です。

そんな健康的で魅力ある木材は、上小地域の豊かな自然と気候風土の中で地域の人たちに植林され、守り育てられ、今、伐採の時期を迎えています。

是非、上小地域で暮らすなら、地域でともに育った木材で家をつくりませんか。



家族が楽しく、快適に過ごし、隣近所の人たちが集う我家

5年、10年、20年と家族とともに暮らす我家だからこそ、自然素材の木材を使って居心地の良いくつろぎを感じる空間をつくりませんか。



普段は都会で仕事、休日は田舎へ戻って農園で汗をかく、そんな2地域居住住宅です。(コテージ風の建物)

管内で最初に森林認証木材で建てられた住宅（青木村）



◇ 普通に木のある暮らし

1 景観づくり

木製ベンチ、木製プランターや木製フェンス等により地域の景観に配慮した、憩いと安らぎの空間づくり



木製プランター



街人がくつろぐ木製ベンチ



市街地の歩道に設けられた憩いの空間(ベンチ、机)



景観にマッチした木製フェンス



商店街のウインドウを木質化



親しみを感じるベンチとゴミ箱

2 日常生活や仕事場での快適な空間づくり

日常生活をおくる住宅や職場のオフィスの壁板や床フローリング、事務机、家具、建具、クラフトなどに使われます。



室内の腰板や通路



オフィスの受付カウンター



オフィスの打合せ空間



木材で自分だけの空間



子供たちに優しい木製玩具



本棚

3 木炭や薪ストーブ、発電などエネルギー利用、紙製品等

木炭や薪は古くから燃料として使われてきましたが、近年は木質バイオマス発電の燃料としての利用も増加しています。また、普段の生活にかかせない新聞や雑誌、ティシュペーパー等の紙製品等に使われます。



薪



燃料用としての木質ペレット



燃料用や製紙用の木材チップ



木炭



温もりの薪ストーブ



木質バイオマス発電所

木材を使うということ

森林は、土砂災害の防止、水源の涵養、二酸化炭素の固定、生物多様性の保全など様々な働きがあり、木材は植林すると何度でも再生産可能で、環境、そして人の暮らしにとって優しい自然素材です。

地域の森林は、昔から建築材や薪、炭等の燃料など、人々の暮らしの大切な資源として利用され、日本の木の文化と歴史、伝統を育ててきました。

健全な森林を維持していくには「植える→育てる→使う→また植える→また育てる」というサイクルを繰り返す必要があります。

住宅などの建築材や家具、燃料などの様々なところに地域材を使うことで、おいしい水やきれいな空気をつくる地域の森林が元気になり、温もりと癒しの生活空間を提供してくれます。

歴史を感じる古い街並み



中仙道の和田宿、長久保宿、北国街道の海野宿、上田城下町の柳町などでは、今なお築百年を超える古民家が多く残っています。

これらの建築物は地域の里山から切り出されたアカマツやカラマツ、スギ、ヒノキなどの木材が使われており、今も十分な強度を維持しており、年を重ねるごとに木材の魅力を発揮しています。

木材は、傷ついたり、へこんだり、色が変わったりと、毎年少しずつ表情を変えていきます。でも、それはそこに暮らす家族の成長と合わせて、大切な思い出として刻まれ、愛着となります。